

■プログラム名

「人間の安全保障」開発を目指した日アセアン双方向人材育成プログラムの構築

■現状及び展望

現状

【学部生対象サマースクール（2週間）】

- 平成 24 年度：派遣 2 回—3 月：15 名→キングモンクット工科大学トンブリ校及びチェンマイ大学（タイ）、15 名→カセサート大学（KU、タイ）
- 平成 25 年度：受入 2 回—5 月：KU12 名→農学研究科、1 月：AUN 加盟大学 23 名→エネルギー科学研究科、派遣 1 回—8 月：15 名→ガジヤマダ大学（UGM、インドネシア）

【3 年修士課程ダブルメジャー型ダブルディグリープログラム（DDP）】

- 平成 25 年度、京大農学研究科と UGM で開始。受入 2 名、派遣 0 名（応募者なし）。3 月に受入学生が京大に短期滞在予定。
- 平成 25 年度、エネルギー科学研究科とバンドン工科大学（ITB、インドネシア）で開始。応募者なし。

【2 年修士課程ダブルディグリープログラム】

- 学内教育制度委員会にて、2 年+1 年→2 年の DDP 承認済み
- 京大医学研究科とチュラロンコン大学（CU、タイ）、マラヤ大学（UM、マレーシア）の間で、Program Description の合意に向けて調整を行っている。2 月に、両大学から関係者を招聘し、最終協議を実施する。

【2 年課程共同指導型シングルディグリープログラム】

AUN 事務局を通じて、AUN 加盟 30 大学から平成 25 年度参加学生を募集中。2 月 14 日（金）締切→AUN にて選考→京大、相手側大学の指導教員の間で調整、Learning agreement の合意→学生の受入を決定。

【その他交流プログラム】

- 将来の DDP 実施を視野に入れ、短期留学生派遣をエネルギー科学研究科とシンガポール国立大学（NUS）、農学研究科と KU の間で実施。平成 25 年度、派遣 3 名。
- AUN-KU キックオフミーティング（平成 25 年 1 月）、AUN-KU 運営会議（平成 25 年 7 月、11 月の 2 回）

展望

- 平成 26 年度には、DDP 派遣も開始
- エネルギー科学研究科と UM、医学研究科と CU、UM も DDP を開始、さらに、KU とも開始予定。
- プログラムの周知を進め、派遣・受入ともに参加学生の人数を増加したい。
- 平成 26 年度以降も、学部生対象のサマースクール（派遣・受入）を開催。

■問題点及び制度上の改正希望

- 単位互換制度の確立：1 科目あたり単位数・学習時間数が大学によって異なる→大学毎の調整が必要
- アカデミックカレンダーの相違の克服（AUN 加盟大学は統一カレンダーを導入予定）→特に、短期滞在、共通科目実施の時期の調整が必要
- 受入学生の宿舎の確保→大学宿舎、民間賃貸物件の借上げ
- DD 取得後の進路→特に、本学学生のキャリアサポートのため、企業へのプログラム周知活動および協力関係の構築が必要

■学生交流数

交流方向	平成 23 年度	平成 24 年度	平成 25 年度（※）
受入	—	0	37
派遣	—	30	18

（※）予定含む